特別企画 Kodomoto Topic

幼稚園の自己評価

作ってみよう！評価項目

幼稚園における学校評価では、「自己評価」を行うことが必要となっています。
さまざまな役割をこなすようになった保育歴３年のK先生は、自己評価の項目作成を頼まれました。
さて、どうしたらいいでしょうか？

K先生の保育日記

10月20日 わたしが作成委員に？

今日は職員会議の日。テーマは「園の自己評価」。なんだか難しそう。園長先生から「うちの園も自己評価をして改善につなげていきましょう」という提案が。内心、また余計な仕事が増えるなあ、と他人事のように思っていたら、「……では、どんな評価をしたらよいか点検する項目を作ります。作成にあたっては、みんなの目線で考えたほうがいいわね。まずは３人くらいのチームでたたき台を作りましょう。えーと、K先生とA先生とI先生が委員になって進めてください」とのこと。えっ、なんでわたしが？どうしよう……。

10月25日 評価について調べてみた

A先生もI先生も先輩だし、ちょっぴり不安だけど２人についていけばいいや……。と思っていたら、先輩たちもわたしと同じ気持ちだった。３人集まって、どう作るのかまったくわからずに途方に暮れる。とはいえ、勉強を開始。評価のことを調べていたら、すでに保育所では自己評価どころか第三者評価までやっているとのこと。そうだったんだ……。こうなったら、やるっきゃない。いろいろ調べたところ、文部科学省の「幼稚園における学校評価ガイドライン」に詳しく載っていることが判明。早速、インターネットでダウンロードし、続けて読み合わせの勉強会になった。

MEMO 1 ガイドラインでは評価項目の視点となる例を明示

- 教育課程・指導
- 保健管理
- 安全管理
- 特別支援教育
- 組織運営
- 研修（資質向上の取組）
- 教育目標・学校評価
- 情報提供
- 保護者・地域住民との連携
- 子育て支援
- 預かり保育
- 教育環境整備

MEMO 2

幼稚園の自己評価の目的

- 職員全員が参加して自己評価を行うことで、園の運営や教育活動について改善点を見出し、その改善点を修正していくことで教育水準を高めていくこと
- 保護者アンケートなどを実施して保護者の要望を汲み取り、それを生かすことで保護者からの高い信頼を得ること
- また、これらを公表することで、地域の方々へ園内活動を理解してもらうことと併せて情報提供をすること

11月4日 なんのために自己評価をするの？

項目がたくさんあっては評価するのも大変だし、まずはガイドラインの中から重要なものに絞って、より簡単な項目を作ろう、ということで意見が一致。そんなことを話し合っているうちに、再度、何のために自己評価をするのかといった話に。わたしも、内心こんな大げさなことをしなくてもいいのに、という感じ。ひとりひとりの職員が自覚をもって取り組めば、それでいいんじゃないの？と本気で思っていた。

今回は評価項目を作る過程で、何のために評価するのかという原点に戻って話し合い、目的を確認しあった。実は、この話し合いがわたしにとって大収穫。改めて幼稚園全体の存在理由を考える機会になった。

11月8日 評価項目の作成を開始

いずれにしても、目的がはっきりわかったので、ガイドラインのなかから自分たちの園に合うものを3人で選んで評価項目の作成にとりかかる。特に、行事の取り組み方や指導計画の作成～反省のプロセスや、「園内のしくみ」について確認する内容を中心に考えた。

おかげで、園内の運営や教育活動がどうなっているのかが全体的に把握できた。今までは、自分のクラスの保育と行事のなかで自分の役割をこなすことだけが頭にあったけど、やはり、全体的に理解しておいたほうがよい、と痛感。この評価項目作成の仕事は苦労するけど、いいこともあったな。

11月30日 評価項目が完成!

何度も見直しを重ね、めでたく評価項目が完成し、職員会議でA先生が発表。A先生はちょっぴり緊張気味。わたしもドキドキ。発表後、園長先生から「ご苦労様、大変よくできていますね。先生たちの提案したこの項目について、みんなで検討しましょう」と、お褒めの言葉。素直にうれしい。

＊評価項目作成においては、最初から項目数を多くせず、できることから実施したほうが現実的です。そして、実施後、改善点を見出し、改善していくことはいうまでもありませんが、次年度は別の観点の評価項目を追加することを検討するなど、いわゆるPDCAサイクルを構築し、充実させていくことが大切です。
＊自己評価が終了したら、園便りやお知らせ、あるいはホームページで公表します。その際、任意ですが、自己評価結果を関係者が確認する「学校（園）関係者評価」の手順があります。将来的には、この「関係者評価」も視野に入れておくとよいでしょう。

『幼稚園評価サポートセット』は、幼稚園の自己評価にきっと役立ちます。

- 評価項目を分野ごとにもれなく作成するのは大変です。そこで文部科学省の「幼稚園における学校評価ガイドライン」をベースに、弊社において63の評価項目を用意しました。園の実情に合わせて選択実施できます。
- この評価項目は教職員ひとりひとりの自己評価としても活用できます。また、管理者層と全教職員が方向性を確認したり、意思の疎通を図ったりするうえで貴重な資料となります。
- 併せて園に対する意見を集めるための保護者向けにアンケートも用意しました。アンケートは回収から集計まで、一貫して弊社が行うシステムになっていますので大変便利です。
- 評価結果報告書は弊社にて作成し、デジタルデータとともに幼稚園へお届けします。

この機会に、幼稚園評価を実施してみませんか。

幼稚園の評価結果報告書（デジタルデータ付）

［お問い合わせ先］
株式会社　学研R＆C
〒141-8510 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL　03-6431-1865　FAX　03-6431-1866
http://www.relief-c.co.jp/kindergarden.html
ホームページに、評価に関する参考内容を掲載しています。

イラスト＝石田純子